

「あつぎ気候市民会議」を実現させたい！

2050年カーボンニュートラルを目指して

待ったなしの地球温暖化対策にやっとなら日本も2050年までには人間が排出する温室効果ガスの収支を実質的にゼロにするカーボンニュートラルを目標とするよう舵を切りました。

人為的な温室効果ガスとしては二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)などが知られています。

対策の中心は現状で一番影響が大きいCO<sub>2</sub>を中心に行われていますが、他のガスも温暖化の影響度合いに応じて算出された地球温暖化係数を乗じて計算されています。

この戦略的ともいえる目標は、これまでの手法ではとうてい達成することは困難なことは明らかです。なぜこの高い目標を掲げるかということ、持続的な社会を維持していくための科学的な根拠に基づく確かな根拠があることによります。このまま大気中の温室効果ガスが増大してそれに伴い気温が上昇していくと、いずれ地球の気候システムが暴走して後戻りできない状態に遷移することが分かってきました。この転換点をティッピング・ポイントと言っています。

「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)の第6次評価報告書の執筆者でもある国立環境研究所の江守正多氏は次のように言っています。

1. 人間活動による温暖化には疑う余地がない
2. 極端現象の増加にも人間活動の影響が現れている
3. 温暖化を1.5℃で止めるには今世紀半ばの二酸化炭素排出実質ゼロが必要
4. 南極氷床の不安定化により海面上昇が加速する可能性を排除できない

厚木市においても2021年2月の市長の施政

方針で2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ(カーボンニュートラル)の表明がありました。更には2030年度のCO<sub>2</sub>削減目標を2013年度比で国の46%を上回る50%以上削減するよう検討しています。

2030年までの短期間でCO<sub>2</sub>排出を半減するためには市民全ての意識の高まりやライフスタイルの改革が必要です。行政がいくら旗を振ったとしても実現は困難で、今こそ行政と市民が協働し企業なども合わせた全てのステークホルダーを巻き込んだ取り組みが必要になっています。

厚木市中心に活動している非営利団体「一般社団法人あつぎ市民発電所」ではこの重要な課題に対処しようと検討を重ねてきましたが、このほど厚木市市民協働提案事業制度を利用した「あつぎ気候市民会議」を提案しました。

この「あつぎ気候市民会議」とは、提案書の事業概要から引用すると、2050年CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ(カーボンニュートラル=以下CN)を実現するために、市民が主要な担い手になる手法として「気候市民会議」を行い、市が定めるCNロードマップの具体化を目指す。そのために実施主体の実行委員会を立ち上げる。市民会議の参加者は無作為抽出で選定する。約6回の会議(基本情報提供と討議)を経て、市民の望む2050年のイメージを描き、実現に向けて「市民アクションプラン」をまとめ、市や市民に結果を公開し2050年CN実現に寄与するとあります。

具体的には今年度に厚木市が策定するカーボンニュートラルロードマップと温暖化対策実行計画を受けて、厚木市の社会構成を反映させるために無作為抽出された数十人の市民会議を立ち上げます。こうして普通の市民が科学的な知見を得ながら熟議を重ねることで2050年カーボンニュートラルの社会をイメージして、そのための具体的なアクションプランを作り発信することを目指します。

現在は市民協働提案事業を提案して書類審査が終了したところで、今後は公開のプレゼンテーションが予定されています。

市民会議の初期段階は専門家によるレクチャーや多岐にわたるフォローも仰ぎますが、あくまでもコアとなるスタッフは地元の市民が中心です。

#### 気候市民会議とは？(武蔵野市HPより)

無作為抽出などによって選ばれた市民が、気候変動対策について話し合う会議です。その開催は欧州各国で広がりを見せており、日本国内でも開催されています。

本市では、気候変動の現状に詳しい講師によるレクチャーを踏まえた上で、地球温暖化に対する目指すべきまちの姿や、一人ひとりの関心と行動を変えていくための取り組みについて市民目線で話し合います。

現状ではスタッフはみな素人で人数も全く足りません。知識はともかく想いを同じにする皆さまの力をお貸しください。

市民協働提案事業第二次審査(公開プレゼン)の予定・・・

日時・場所:10月2日(日)15:45-

市民交流プラザ・ミュージックルーム

\* 一般社団法人 あつぎ市民発電所

info@atsugi-shiminhatsudensho.net

副理事長 鷺谷 雅敏(さぎたに まさとし)